## 平成26年度 同好会事業報告

## 地歴 同好会 世話係名 山﨑 茂 会長名 新津朋典

月日	実施した事業内容	参加人員
5月2日	同好会発足会、世話係・会長会	19名
7月12日	第二回地歴同好会 「福島正則の遺構を訪ねて」 講師:涌井二夫先生(須坂市誌編纂室編纂専門員) 上高井地方に残される、福島正則ゆかりの遺 構を訪ね、福島正則の生き様を知ることができ た。講師の涌井先生からは、その場所場所で丁 寧な説明をしていただくことができた。	8 名
8月7日	第三回地歴同好会(夏期巡検) 「日本の近代化を支えた製糸業に学ぶ その2:岡谷の製糸業から」 ・岡谷蚕糸博物館 ・イチヤマカ ・旧林家 ・岡田一林組 ・釜口水門 講師年度の小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18名

今年度の地歴同好会も、夏期巡検をメインの活動として研修を深めました。

夏休み中の八月七日(木)、須坂市誌編纂室編纂専門員の井上光由先生を講師にお迎え して行いました。昨年に引き続き、日本の近代化に大きな役割を果たした養蚕と製糸業 において、今年は、須坂・上高井地方と並び、長野県内でその役割の大きかった岡谷の 製糸業について研修を深めました。

当日は、岡谷蚕糸博物館の見学からスタートしました。ここは、今年の八月一日にリニューアルオープンしたばかりで、展示内容も充実したものでした。また実際に操業している製糸工場(宮坂製糸所)が館内に設置されており、従業員の方が繭から生糸をとる様子を実際に見学できる、画期的なものでした。

午後は、旧林家住宅を見学しました。林家は岡谷でも有数の製糸家で、この住宅は、

和館と洋館が一つの棟に造られていました。金唐紙や壁、床の寄木細工など、華やかに装飾されている建物の様子を見学しました。生糸貿易では西洋人の接待も思い描きこういった建物が造られた、という説明を聞き、岡谷における製糸業の隆盛を感じることができました。その後、林組の事務所や釜口水門を見学し、帰路につきました。

今回の巡検では、岡谷の製糸業の隆盛に思いを馳せると共に、昨年度の巡検で訪れた 富岡製糸場とのつながりも感じることができました。その場所場所では、講師の井上先

生からは興味深いたくさんのお話をお聞きすることができました。充実した巡検になったと思います。最後に、快く講師をお引き受けていただいた井上先生、そして巡検にご参加いただいた先生方をはじめ一般の皆様方、ご参加いただいた全ての皆様に感謝の意を表し、地歴同好会からの報告とします。



(東中学校 新津朋典)